

11月のスケジュール

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8 全園児 歯科検診	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18 0歳児検診 巡回相談	19	20	21	22	23	24 market@ BUTTER
25	26	こども美術館 27	28	29	30	

イベント

11/18 渋谷区巡回相談 相談希望の方は事務所までお声をお掛けください。

11/25-29* small alley こども美術館2019 ～足跡がみえる～

こどもたちは日々たくさんもの出会っています。small alleyこども美術館では、かけがえのない出会いから生まれたたくさんの物語を展示します。ぜひご覧ください。

場所:、small alley (2階、3階) BUTTER (29日のみ)

保護者の方々とご親族の方は11月25日から11月29日まで送迎時にお子さんと一緒にご覧いただけます。最終日の29日のみ一般の方々も招待制で入場することができます。

ご招待チケットはホームページよりダウンロードして印刷できるようにすることで準備を進めています。

詳しい方法につきましては、追ってアナウンスさせていただきます。

ぜひお知り合いをお誘いの上、ご予約を空けておいていただけたら幸いです。

11/24 (日) Market@BUTTER たのしい手づくり子そだて祭 VOL.2

11:00~16:00 (ワークショップ最終受付15:00) 入場無料 (各ワークショップは個別に料金がかかります)

【ワークショップ講師、および内容】あずみ虫 (イラストレーター・絵本作家) アルミ板を使って楽しい生きものを作ろう、シーナアキコ (音楽家) ふさふさシッポなバードコールを作ろう、砂原文 (写真家) +伊東朋恵 (スタイリスト) 手織りウィービングで写真を飾ろう

葉田いづみ (グラフィック・デザイナー) 紙の半立体アクセサリー作り、hibi (花屋) お花をえらんで花束を作ろう、吉川愛歩 (料理家) 野菜ジャムをのっけて!カラフルおにぎり&自分でまぜまぜグラノーラ、良原リエ (音楽家) はじめてのリメイク・サコッシュとポンポンを作ろう、アノニマ・スタジオ (出版社) 絵本などの販売

November 2019

2019.11.1 発行

small alley post

東香会

保育理念 『いきいき』

合言葉 『すべて子ども中心』

基本保育方針

『私たちは、今ここで「こどもたちのたからもの」を大切にします』

『地域で安心して子育てができるように!』

『子どもの成長、発達に寄与する人はすべて保育者』

11月の保育主題

『いろどりの中に たくさんのたね』

芸術祭や食材の豊かさなど、色彩に弾ける

「子どもの窓辺から」

「学校＝スクール」の語源となったギリシャ語の”スコレーscholē”意味をご存知でしょうか。数千年前の古代ギリシャ哲学者たちが、労働や戦争、〇〇以外の時間を自由に探求する時間としたのがスコレーの意味だったそうです。現代のスクールとは雰囲気はちょっと違うかもしれませんね。

今は労働や争い、〇〇の”ための”時間のような印象ですが、いずれにせよ、今も昔も探求する時間としてスクールが成り立っているのは変わりなさそうです。

オランダの歴史家ヨハン・ホイジンガ（1872-1945）は、著書「ホモ・ルーデンス」において、スコレーの本質にあるものは”遊び”だったと言います。古代ギリシャの哲学者たちが思想で”遊ぶ”ことによって新たな考え方や学びが生まれたのだそうです。このホイジンガの思想をさらに進めたのが、以前のコラムに書いたロジェ・カイヨワの「遊びと人間」です。

この二人の理論を私なりにまとめると、学びは、自分の知りたいことを存分に深めるための時間と環境が必要であり、それらを保証するのが学校だということになります。また、自由な時間から”遊び”が発生し、学びにつながる要素になるとも言えます。

現在の世界中のほとんどの小学校では、子どもたちが自ら「やりたいことを存分に探求する」ということは難しいカリキュラムと環境です。しかし、保育園や幼稚園、こども園といった就学前の場所は、スクールの本来の意味である「余暇の時間」を存分に深めることを実現しやすいカリキュラム（指針）と環境を持っています。だからこそ、しぜんの国では、子どもたちがとことん遊べるように方針や環境を整えていきたいのです。

でも、子どもたちだけが遊びを深めていくと、大人（保育者）が置いてけぼりになることがあります。子どもたちは遊びながらどんどん経験値を高めているのに、大人（保育者）がその重要な時間を理解できないことがあるんですね。そこで、新人保育士であれ、ベテラン保育士であれ、まずは子どもと視点を合わせて遊べるかどうか大切です。

今までに様々な保育者をみてきましたが、子どもとの遊びについて、

①共に遊んでいる保育者 ②遊ばせている保育者 ③遊ばれている保育者 ④遊ばない保育者

という関わり方の違いがありました。当然、まずは子どもと遊んでいる保育者が、子どもの視点にいち早く同期できるのですが、意外にそこを理解するのが難しいと思う保育者もいるようです。遊ばせるでも、遊ばれるでも、遊んでいないでもなく、遊んでいる大人でありたいと常に思っています。

渋谷東しぜんの国こども園 理事長 齋藤 紘良

保健師より

今年も残すところあと2か月をきりました。木々は紅葉し秋から冬へと季節は進みます。これからは空気も乾燥していき、インフルエンザやノロウイルスなど感染症が流行る季節がやってきます。朝夕の寒暖差も体調を崩す原因になりがちです。気温に合わせて衣服の調整をし、本格的な冬に備えたいですね。

10の感染症

嘔吐・下痢 2名

全園児歯科検診 11月8日(金) 10時45分～

0歳児健診 11月18日(月)9時半～

*つばみぐみのみなさん当日はなるべくお休みされたいよう、お願いいたします。

保育エピソード「きれいなところ」

「Hちゃんも行きたい！」ゴミ集めに行く私に声をかけてくれたHさん。「じゃあ一緒に行こうか」とふたば組の部屋へ一緒に向かった。誰もいないふたば組で、肋木に駆け寄っていく。ゴミを取って事務所に戻ろうとすると、ふと立ち止まったHさん。目の前には白とピンクと水色のストライプの布があった。じーっと見つめ、「きれい…！」とつぶやく。その様子がとても素敵だったので「どういう風にきれいな？」と聞くと「白とピンクと水色があるから。虹みたい」と答えた。「これも海みたいできれいだね」と水色の布を触る。「きれいだね」と一緒に感じる瞬間に幸せを感じた。

ふと立ち止まり、きれいな物をきれいと言えるということは何て素敵なことなのだろうか。世界にはきれいなものが沢山広がっていて、自分から出会っていきける。人生が豊かになるための土台の部分になってくるのではないか。Hさんの感じる世界を大切に、一緒に見ていきたいと感じた。

12/8（日）町田しぜんの国保育園 ～サウンド園庭2019～開催

町田しぜんの国保育園にて、子どもも大人も参加できるフェス型イベント、「サウンド園庭」を開催します。在園以外の方もご来場いただけます。チケットはPeatixにて発売中！

イベント概要：

日時：2019年12月8日（日）14:00 開場・開演（19:00終演予定）＊再入場可

場所：しぜんの国保育園（東京都町田市忠生2-5-3）

料金：前売3,500円／当日4,000円（在園の保護者の方は¥2,000/¥2,000）

＊高校生以下無料、小学生以下のお子さまには飲み物を一杯プレゼント

<出演>曾我部恵一、坂本美雨、Enjoy Music Club、Hei Tanaka、フジワラサトシ...and more

<出店>いけばな研究所（お花飾りワークショップ）、INDERS PAPERS（ノートづくりワークショップ）tokyobike（子ども用自転車体験）、sweet dreams press（CD、書籍）こどものジャム専門店

こどもも（ジャム）、TORATOMICAN（ドリンク）WOLD PASTIRES（焼き菓子）、

TOUKOUKAI kitchen（保育園調理師によるフード）台湾式リフレクソロジー（足つぼマッサージ）

...and more

<展示>保育と芸術展（保育者による作品展示）

チケットはこちら。➡

